

ステップ 1

第 1 回

- I ①先月は晴れた日が少なかった。
②親しい友人に日常会話を習っている。
③読書と旅行と、どちらが好きですか。
④弟は、古い切手を集めています。
⑤日本では、車は左、人は右を**通**ることになっている。
⑥この店の定休日は木曜日です。
⑦私は、朝**九**時に始まって夕方五時に終わる仕事をしたがたい。

- I ⑤日本：「**にっぽん**」とも読む。
通る：**か**通う、**つう**じる
⑦私：正しくは「**わたくし**」と読む。「わたし」は慣用的な読み方。
九時：「**九**」の基本の音読みは「**キュウ**」。

第 2 回

- I ①一日に一度は教科書に**目**を**通**そう。
②銀行は三時に閉まるから早く行きなさい。
③お昼はいつも会社の食堂で食べることにしている。
④あの有名な作曲家は、**元**歌手だそうだ。
⑤あれは東洋一大きい建物です。
⑥私は新聞の漢字が読めるようになりたい。
⑦この土地の名物をお送りしましたので、お受け取りください。

- I ①目を通す：**め**「**ご**つと見る」
④～家：「～を職業とする人」
元～：「**いぜん**」
⑤～一：「～の中で一番」

第 3 回

- I ①毎朝四時に起きて、公園を走ることになっている。
②スピーチをする時は、自分の考えを短くまとめて話すこと。
③今年、七月二十日から夏休みだ。
④世界の言語には**文字**を持たないものもある。
⑤自転車で転んでしまって足が痛い。
⑥明日の午後は、大事な用事で外出します。
⑦父母の元気な顔を見て安心した。
⑧旅行の費用は、係りの者が**集**金します。

- I ③今年 二十日：**と** (特)
④世界：「**せ**」の基本の音読みは「**セイ**」。例：中世
文字：「**もんじ**」とも読む。
「**ぶん**」の基本の音読みは「**ブン**」。例：文学
⑥明日：**あす** (特) 変わった場合の読み方は「**みよう**にち」。「あした」は平仮名で書く。

第4回

I ①この用紙に、住所、氏名、生年月日と電話番号を書いてください。

- ②今年(ことし)は天気(てんき)の悪い(わるい)日(ひ)が多く(おおく)、見学者(けんがくしゃ)は去年(きょねん)の半分(はんぶん)だ。
③遠く(とおい)に海(うみ)が見える(みえる)レストラン(れすとらん)で昼食(ちゆうしょく)を取(と)ろう。
④しつかり働(はたら)いた後(あと)で飲(の)むお茶(ちや)はおいし(おい)しい。
⑤台風(たいふう)の強(つよ)い風(かぜ)のため(ため)、電線(でんせん)が切(き)れ電氣(でんき)が消(き)えた。
⑥安全運転(あんぜんうんてん)で楽(たの)しい旅(たび)。
⑦春(はる)の洋服(ようふく)には、明(あ)る色(いろ)が好(この)まれる。
⑧山(やま)の上(うへ)から見(み)おろすと、町(まち)も村(むら)も小(ち)小さ(さい)く見(み)える。

- II a うつって b だいがく c おくじょう d 大小
e ふたつ f くださる g げか h いがく
i まなで j みごとに k はずれた l せけん
m 悪口 n 会う o 急いで

I ①生年月日(せいねんがつび)：「月(つき)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ゲツ」。例(れい)：今(こん)月(げつ)

- ④後(あと)で：後(のち)後(うし)ろ
⑤台風(たいふう)：「台(たい)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ダイ」。例(れい)：台(だい)所(じょ)

- ⑦好(この)む(動(うづ))：好(この)む(形(かた))
II a 映(うつ)る：映(うつ)る
g 外科(げか)：「外(がい)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ガイ」。例(れい)：外(がい)国(こく)
I 世間(せけん)：「間(かん)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「カン」。例(れい)：時(じ)間(かん)
m 悪口(わるくち)：「わるぐち」の音(おん)読(よ)み方(かた)もある。

第5回

I ①食事(しょくじ)の後(あと)、空(あ)いたコップ(こっぷ)を台所(だいじょ)まで運(はこ)んでください。

- ②こちらへは、地下鉄(ちかてつ)を利用(りよう)されるのが便(べん)利(り)です。
③兄(あに)はドア(ドア)をびったり閉(し)めて、夕飯(ゆうはん)になっても部(べ)屋(や)から一(いっ)歩(ぽ)も出(で)てこない。
④姉(あね)から、男(おとこ)の子(こ)が生(う)まれたという知(し)らせが来(き)た。
⑤先生(せんせい)は高(こう)校(こう)時(じ)代(だい)の思(おも)い出(で)を話(わ)して下さ(くだ)さった。
⑥薬屋(すりや)は、そこを右(みぎ)に曲(ま)がるとありま(あ)りますよ。
⑦この県(けん)の人口(じんこう)は、ここ五(ご)、六(ろく)年(ねん)ほ(ほ)ぼ一定(いってい)している。

- II a うお b いちば c きんぎょ d しゅうちゅうりよく
e 高(たか)めて f まざって g いつづ h いと
i 親(おや)切(せき)な j じいん k 黒(くろ)くて l 止(と)まって
m 手(て) n 円(えん) o おおやさん

I ①空(あ)く(動(うづ))：空(あ)き(名(な))、空(そら) (名(な))、空(から) (名(な))

- ③閉(し)める：閉(と)まる
部(べ)屋(や)：部(べ)屋(や) (特(とく))
⑥～屋(や)：「その職(しよく)業(ぎょう)の人(ひと)、職(しよく)業(ぎょう)を営(いとな)む店(みせ)」

- II a 魚(うお)：魚(うお)
f 交(ま)ざる：交(ま)ざる

第6回

I ①電氣(でんき)と水道(すいどう)の使用料(しりょうりきん)金(きん)で、毎(まい)月(つき)九(きゅう)千(せん)円(えん)ぐら(ら)いかかる。

- ②大(たい)会(かい)に出(しゅつ)場(じょう)する人(ひと)は、全(ぜん)員(いん)こち(こ)らに集(あつ)ま(ま)ってくださ(くだ)さい。
③受(じゆ)験(けん)のた(た)めに毎(まい)日(にち)八(はち)時(じ)間(かん)も勉(べん)強(きやう)した。
④私(わたくし)は特(とく)に「か」と「が」の区(く)別(べつ)が苦(にが)手(て)だ。
⑤自(じてん)車(しゃ)の二(ふたり)人(にん)乗(の)りは危(あぶ)ないの(ので)禁(きん)止(し)さ(さ)れてい(い)る。
⑥日(に)本(ほん)の首(しゆ)都(と)の人口(じんこう)は約(やく)千(せん)三(さん)百(ひゃく)万(まん)人(にん)です。
⑦今(こん)度(ど)の休(やす)みは部(ぶ)長(ちやう)の代(だい)理(り)でゴ(ご)ル(る)フ(ふ)に(に)行(い)くこ(こ)に(に)な(な)って(て)い(い)る。

- II a じょうず b へた c うわぎ d 金色
e 紙 f さんしょく g ぜんしゃ h こうしゃ
i あらたな j しょうじた k なま l 魚
m まさに n ちゆうせい o おこなわれて

I ⑤二人(ふたり)：二(に)人(にん) (特(とく))

⑥千(せん)三(さん)百(ひゃく)万(まん)人(にん)：2010(ねん)年(ねん)3(がつ)月(げつ)現(げん)在(ざい)の人口(じんこう)。「人(ひと)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ジン」。例(れい)：外(がい)国(こく)人(にん)

II a 上(じやう)手(ず) b 下(げ)手(ず)：上(じやう)手(ず) (特(とく))

h 後(こう)者(しゃ)：「後(のち)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ゴ」。例(れい)：午(ご)後(ご)
j 生(じやう)じる：「発(はつ)生(せい)する」という意(い)味(み)。「生(じやう)じる/ずる」あり。

⑦ 生(せい) (特(とく))：「生(せい)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「セイ」。例(れい)：生(せい)活(かつ)
k 生(なま)：「熱(ねつ)を加(くわ)えてい(い)ない」

第7回

I ①海(かい)外(がい)に住(す)んでい(い)る親(しん)友(ゆう)か(ら)七(しち)年(ねん)ぶ(ぶ)り(に)便(べん)り(が)来(き)た。

- ②遠(とおい)く(に)家(いえ)を(を)買(か)う(より)、都(と)心(しん)のマンシ(マンシ)ョン(を)借(か)りた(ほう)が便(べん)利(り)だ。
③この先(さき)の広(ひろ)い道(みち)を三(さん)分(ぶん)ほ(ほど)行(い)くと、お寺(てら)の前(まえ)に(で)出(で)ます。
④花(はな)に水(みず)を(を)やり小(こ)鳥(とり)の世(せ)話(わ)を(を)する(のが)私(わたくし)の朝(あさ)の仕(し)事(ごと)だ。
⑤来(らい)週(しゅう)長(ちやう)男(なん)が海(かい)外(がい)か(ら)帰(かえ)る(の)を(を)楽(たの)しみに(に)し(して)い(い)る。
⑥楽(らく)な一(いつ)生(しやう)より(も)、苦(くる)しく(ても)自(じ)分(ぶん)ら(ら)しい(じんせい)人(じん)生(せい)を(を)送(おく)りたい。
⑦あ(の)後(うし)ろ(に)見(み)える西(せい)洋(やう)風(ふう)の建(た)物(ぶつ)が国(こく)立(りつ)図(ず)書(しょ)館(かん)です。

- II a 代(だい)わ(わ)って b おもに c てくび d 痛(いた)む
e きょうだい f ちやうしよ g たんしよ h みやこ
i 二(に)日(にち) j 日(にち)曜(やう)日(にち) k つごう l 九(く)日(にち)
m 赤(あか)い n 土(つち) o 川(かわ)

I ①便(べん)り：送(おく)り仮(が)名(な)に注(ちゆうい)意(い)。

③～分(ぶん)：「分(ぶん)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ブン」。例(れい)：気(き)分(ぶん)

⑤長(ちやう)男(なん)：「男(おとこ)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ダン」。例(れい)：男(だん)子(し)

⑥楽(らく)な：「楽(らく)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ガク」。例(れい)：音(おん)楽(がく)

⑦～風(ふう)：「～の特色(とくしよく)を持(も)つ」
図(と)書(しょ)館(かん)：「図(ず)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ズ」。例(れい)：地(ち)図(ず)

II e 兄(きやうだい)弟(てい)：「兄(あに)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ケイ」。

i 二(に)日(にち)：二(に)日(にち) (特(とく))
k 都(つごう)合(ごう)：「都(つごう)」の基本(きほん)の音(おん)読(よ)みは「ト」。例(れい)：都(と)会(かい)

第8回

- I ①消費者の**好み**を考えて、新しいタイプの車を作った。
 ②**勉強不足**で、何を聞かれても正しく答えられなかった。
 ③日本は、春、夏、秋、冬の**区別**がはっきりしている。
 ④小さい時は体が弱かったが、**大人**になってからは病氣一つしない。
 ⑤この地方は南から北にかけて**森林**が広がっている。
 ⑥ニュースによると**青少年**の体力が少しずつ低下してきているそうだ。
 ⑦本が着きましたら、来月の十日までに代金を郵送してください。
- II a かいとう b 土曜日 c 出して d 同じ
 e どういつ f せきどう g とつきゅう h じょうきょう
 i 南北 j 長い k お父さん l 手前
 m 言った n 牛肉 o 安くて

- I ①**好み**：「好む」(動)の名詞化。
 ②**勉強不足**：「べんきょう+ふそく」→「べんきょうぶそく」読み方に注意。
 ④**大人**：**図**(特)
- II a 回答：「質問や要求などへの**返事**」**図**解答
 e 同一：「一」の**基本**の音読みは「イチ」。例：一度
 k お父さん：**図**(特)

第9回

- I ①雨が降った後は、**運動場**を使用しないでください。
 ②地図によれば、**交番**は映画館と公園の間にあるはずだ。
 ③苦心して作った作品をほめられて、**少女**はうれしそうだった。
 ④開会にあたって、市長は今後の**計画**を**力強く**語った。
 ⑤お寺の門の前で、**一人**の男が飲み物を売っている。
 ⑥このレポートは今晚中に**仕上げる**つもりだ。
 ⑦火事があったために、**今日**この通りは**通行禁止**になっている。
- II a 四日 b 六日 c **ちゅうこしや**
 d ばいばい e たいはん f **まったく** g **うれゆき**
 h 非常に i じょうひんな j **先日** k した
 l うち m そと n 使い分ける o **しょもつ**

- I ④**計画**：「画」の**基本**の音読みは「ガ」。例：映画
 力強く：「ちから+つよく」→「ちからづよく」読み方に注意。
 ⑤一人 ⑦**今日**：**図**(特)
- II c 中古：「使用して古くなった**品物**」
 j 先日：「日」の**基本**の音読みは「ニチ」。例：日曜
 o 書物：「物」の**基本**の音読みは「ブツ」。例：動物
 「モツ」と読むのは「食物」など。

第10回

- I ①あの**黒っぽい服**を着た方は物理学者です。
 ②こういうミスが何回も重なって、社長の**耳**に入るとまずい。
 ③**寝不足**と疲れから入院してしまった。
 ④**動物好き**の母は、犬も家族同様に大切にしています。
 ⑤兄は、**四十代半ば**で小学校の校長になった。
 ⑥この工場では**危険な化学薬品**を使っている。
 ⑦ただいま、都内の**電車**は**全線**が**不通**になっています。
- II a 西口 b ごじゅうおん c **じゅうぶん** d ほんにん
 e 子犬 f **ゆくえ** g 歌 h 歌って
 i 閉会 j **あけたら** k 林 l 交通
 m **べん** n いっぱう o しゃっきん

- I ②**耳**に入る：**圖**「情報などを聞いて知る」
 ③**寝不足**：「ね+ふそく」→「ねぶそく」読み方に注意。
 ④**動物好き**：「どうぶつ+すき」→「どうぶつずき」読み方に注意。
 ⑤**半ば**：送り仮名に注意。
- II c 十分：「不足がない」
 f 行方：**圖**(特)
 j 明ける：「年が明ける」は「新年になる」という意味。
 m 便：「便が悪い」は「不便だ」という意味。「ピン」と読むのは「郵便や輸送機関」の時。

第11回

- I ①友人間でお金を貸したり借ったりしないこと。
 ②二階で一晩中物音がして**寝られなかった**。
 ③**正月**に国へ帰って、**お母さん**の作ってくれる料理を味わうのを楽しみにしています。(手紙文で)
 ④私の好きな学科は理科と音楽だ。
 ⑤あの病院は、曜日によっては**夜間も開いている**。
 ⑥去年行った**工事**をめぐる不正について、**知事**に**質問**が集中した。
 ⑦私は父親から心の広い**人間**になれと教わった。
- II a 三十七度 b さが**が**つて c **ほんじつ** d 中止
 e **はたち** f みつか g **ぎょうじ** h 田
 i おこめ j 味 k 痛み l 取る
 m きょうりよくな n くつう o **な**かった

- I ③**正月**：「正」の**基本**の音読みは「セイ」。例：不正
 お母さん：**圖**(特)
 ⑤開く：**圖**開く
 ⑦人間：「間」の**基本**の音読みは「カン」。例：時間
- II c 本日：「今日」の**改**まった**言**い方。
 e 二十：**圖**(特)
 g 行事：「行」の**基本**の音読みは「コウ」。例：行動

第12回

I ①お兄さんは南米でお医者さんとして働いていらっしゃるのか。

- ②友人のお姉さんがケーキを八つに切って分けてくれた。
③四月七日は遠足です。
④この全集は、東西の有名な作家の作品が集められている。
⑤考えても分かりませんでしたので、答えを教えてください。
⑥持った時重かったのに、開けたら中は空だった。
⑦今は多くの方が、心に不安を持って生きている時代だ。

- II a けさ b 夜 c 低く d かない
e みょうごにち f おへんじ g お名前 h みょうじ
i 降りて j したまち k めいしよ l 木
m 森 n 部分 o 全体

I ①お兄さん ②お姉さん：罫 (特)

④東西：「西」の基本の音読みは「セイ」。例：西洋

II a 今朝：罫 (特)

e 明後日：「明」の基本の音読みは「メイ」。例：説明 罫「あさって」は平仮名で書く。

h 名字：「名」の基本の音読みは「メイ」。例：氏名

i 降りる：罫下りる

第13回

I ①何か足りない物があつたら、近所の店で買ってください。

- ②南の国を旅行した時に見た、白い花の名前が知りたい。
③元教会だった建物は、今大使館として使われている。
④姉が日本に住んでいるので、来日して特に困ったことは無い。
⑤兄弟二人の年を足すとちょうど四十になる。
⑥人がいないはずの教室の中から、小さい女の子の声が聞こえる。

⑦この地方の地下水は飲料水として使用されている。

- II a むじ b きじ c 見せて d よあけ e ようか
f やおや g 安売り h 夕食 i 特別な j 青
k さゆう l 来月 m ついたち n つねに o ようじん

II a 無地：「地」の基本の音読みは「チ」。例：地球

b 生地：「き (訓) + ジ (音)」の読み方に注意。

f 八百屋 m 一日：罫 (特)

k 左右：「右」の基本の音読みは「ウ」。

o 用心：「用心する」は「気を付ける」という意味。「心」の基本の音読みは「シン」。例：心配

第14回

I ①駅の売店で新聞と飲み物を買った。

- ②この石は火には強いが、水には弱い。
③山林の火事は四十八時間で消し止められた。
④学費の一部にするために、週三回、飲食店で働いています。
⑤学校まで歩いて通える場所に部屋を借りた。
⑥東の空に大きな月が出ていた。
⑦入り口の所に立っていると、入る人のじゃまになります。

- II a みおくり b 友 c 別れ d あかり
e 消して f 閉じる g できごと h しまい
i 九つ j 六つ k 四つ l ぶじ
m 話 n なにじん o はえて

I ⑤通う：罫通る、通じる

II d 明かり (名)：送り仮名に注意。罫明るい (形)

l 無事：「無」の基本の音読みは「ム」。例：無理

n 何人：「何人」との意味の違いに注意。

m 話 (名)：罫話す (動)

ステップ2

第15回

I ①気分が悪いのなら、しばらくそこに横になっていなさい。

- ②広場の中央に大きな時計台がある。
③上りと下りの電車を間違えて乗ってしまった。

II ①解く (とく) ②加える (くわえる)

③温めます (あたためます) ④過ぎた (すぎた)

⑤返す (かえす)

III ①各 c かくじ d かくち

②育 e たいいくかん f きょういく

③感 g かんしんな h かんどう

IV a かいが b 貝 c なま d 鳥 e おうじ

f ものがたり g 一億円 h かど i 明らか j ようす

V ①2 ②1 ③1 ④3 ⑤4

I ②時計：罫 (特)

③上り：ここでは「地方から中央へ向かう」。⇔下り

II ③温める：「温める」は手など体の一部で感じられるものにつかう。罫暖める

IV e 王子：「子」の基本の音読みは「シ」。例：調子

i 明らか：送り仮名に注意。「はっきりしている」という意味。罫明かり (名)、罫明るい (形)

V ①強引に：「強」の基本の音読みは「キョウ」。例：勉強

④果たして (副)：「本当に〜だろうか」

⑤自ら：送り仮名に注意。「自分から、自分で」という意味。

第16回

- I ①大通りにある薬局は、年中特売をしている。
 ②花火を見物する人で、橋の上は動けないほどだった。
- II ①日課 (につか) ②活気 (かつき) ③意外 (いがい)
 ④経営 (けいえい) ⑤以降 (いこう)
- III ①角 aさんかくけい bかくど
 ②月 cおしょうがつ dつきひ
 ③記 eきにゅう fきじ
 ④共 gきょうつう hきょうどう
- IV a おのおの bちょうしょ cかこ dかいぎ
 eながびいて f器具 gおすまい hむりょう
 iたいおんけい jはかる
- V ①4 ②(1)1 (2)1 (3)2 ③3

- I ①年中:「ずっと、いつも」
- IV a 各々:「一人一人」という意味。「々」は同じ文字の繰り返し符号。「各」だけで「おのおの」とも読む。
 c 過去:「去」の基本の音読みは「キョ」。例:去年
 g 住まい (名):「住んでいる所」住む (動)
 j 計る:「数量や時間を調べ数える」測る、量る
- V ①玉:「丸い形をした物」
 ②(2)大木:「大」の基本の音読みは「ダイ」。「木」の基本の音読みは「ボク」だが、「木曜日」「木材」など「モク」と読む語が多い。
 ③足る:「十分である」

第17回

- I ①広告は、新聞よりテレビのほうが効果があるようだ。
 ②コンサートに行く前に、どこかで軽く食べて行こう。
 ③日記を読んで、楽しかった学生時代を思い出した。
- II ①改める (あらためる) ②育つて (そだって)
 ③結んで (むすんで) ④光って (ひかって)
 ⑤用いる (もちいる)
- III ①泳 aすいえい bおよいだ
 ②向 cほうこう dむかって
 ③決 eきめた fけっしん
 ④待 gきたい hまつて
- IV a かたち bちょうほうけい c過ぎた dほうがく
 e事件 f限り g可決 hしてつ i起こした jくらい
- V ①2 ②4 ③1 ④3 ⑤2

- I ②軽く食べる:「少し食べる」
- II ⑤用いる:「使う、使用する」
- IV d 方角:「角」の基本の音読みは「カク」。例:三角
- V ④球:「スポーツのボール、それに似た形のもの」

第18回

- I ①強い光は目に悪いので、夏はサングラスをかけるようにしている。
 ②昨日売りと出されたコンピューターは、あつという間に売切れた。
- II ①空港 (くうこう) ②山林 (さんりん) ③目次 (もくじ)
 ④生産 (せいさん) ⑤国際 (こくさい)
- III ①限 aげんかい bむげん
 ②在 cざいがくちゅう dげんざい
 ③解 eかいとう fりかい
 ④合 gごうどう hごうりか
 ⑤長 iとくちよう jちようちよう
- IV a ね bつち cとりいれる dこんがつき
 eしけん f課 gいたい hゆび
 iち jけっして
- V ①(1)3 (2)4 ②4 ③(1)1 (2)2

- I ①光 (名): 送り仮名はつかない。 光る (動)
 ②昨日: 図 (特) 改まった場合は「昨日」とも読む。
 あつという間:「短い時間、すぐ」
- III c ~中:「～している」という意味。例:工事中
 e 解答:「練習問題などの答え」回答
 i 特長:「そのものの特による所」特徴
- IV j 決して:「決して～ない」の形で用い、「絶対に～ない」という意味。
- V ①(2)指す:「指などで示す」
 ②効く:「効果がある」
 ③(1)通じる:「通じる/ずる」あり。 図 (5)IV e)

第19回

I ①西向きの部屋なので、夏の夕方は暑くてたまらない。

②さっきまで泣いていた妹が、もう笑っている。

II ①失った(うしなった) ②示して(しめして)

③死ぬ(しぬ) ④効く(きく)

⑤試して(ためして)

III ①資 aしほん bしりょう

②式 cけいしき dけっこんしき

③情 eかんじょう fじじょう

④商 gしょうばい hしょうひん

⑤原 iげんりょう jげんし

IV a王 b教師 cながねん d研究 eみ

fむすんだ gさんしょう hかち i手術

jなおしたい

V ①(1)3 (2)1 ②2 ③(1)4 (2)4

I ①～向き:「部屋の窓などが～の方向に向いている」

II ②示す:「相手にはっきり分かるように見せる」

IV c 長年:「なが(訓)+ネン(音)」の読み方に注意。

e f 実を結ぶ:「実(実)「よい結果を得る」

g～勝:「勝った回数を数える助数詞」

j 治す:「病気の時には「治す」を使う。直す

V ①(2)四つ角:「四つ」の読み方は「よつ」だが、名詞につくと「よつ」と読む。

③(1)険しい:ここでは「傾斜が急な」という意味。

(2)目指す:「目標にする」

第20回

I ①この海はすぐ深くなるので、泳ぐのは危ない。

②私が受けた大学は、受験科目が英語と数学だけだった。

II ①政治(せいじ) ②社説(しゃせつ) ③助手(じょしゅ)

④果実(かじつ) ⑤身分(みぶん)

III ①一昨年(いっさくねん) ②暗記(あんき)

③合格(ごうかく) ④改正(かいせい)

⑤真空(しんくう)

IV a 雪 b初めて c屋根 dだんせい e願って

f がんじつ g寺 hじんじゃ i静かな jお座り

V ①3 ②1 ③(1)4 (2)2 ④2

II ⑤身分:「み(訓)+ブン(音)」の読み方に注意。

III ④改正:「改めて正しくする」。例:憲法改正

IV b 初めて:「1回目」 ④始める(×始めて、×初める)

f 元日:「元」の基本の音読みは「ゲン」。例:元気

h 神社:「神」の基本の音読みは「シン」、「社」の基本の音読みは「シャ」。例:神経、会社

V ①笑顔: ④酒場:「さか」の読み方に注意。

第21回

I ①今若い人の中では、船の旅も人気があるそうだ。

②外が暗くなったと思ったら、急に雨が降り出した。

③色の組み合わせで最も目立つのは、黄色と黒だ。

II ①相違(そうい) ②勝手(かって) ③相続(そうぞく)

④対立(たいりつ) ⑤成分(せいぶん)

⑥身長(しんちょう)

III ①設 aせつけい bけんせつ

②宅 cじたく dきたく

③信 eしんごうき fじしん

④題 gもんだい hだいいい

⑤制 iせいど jせいげん

IV a 地球 b自然 c会議 d昨日 e星

f こまかい g 指示 h他人 iせんそう j たたか

V ①(1)1 (2)4 ②2 ③3 ④3

I ①人気がある:「人々に好かれる」

③目立つ:「め+たつ」→「めだつ」読み方に注意。

IV b 自然:「自」の基本の音読みは「ジ」。例:自由

f 細かい:送り仮名に注意。 ④細かい

V ①(1)治める:「混乱をしずめる」 ④治す

②済む:「解決する」という意味。「終わる」という意味もある。

第22回

- I ①今年の冬は暖かくて、まだ一度も雪が降らない。
 ②都会では鳥や虫がだんだん見られなくなってきている。
- II ①達した(たっした) ②注いで(そそいで)
 ③助かって(たすかって) ④追われて(おわれて)
 ⑤折れて(おれて) ⑥調べて(しらべて)
- III ①選 aせんしゆ bえらばれた
 ②進 cすすまない dしんぽ
 ③相 eあいて fそうだん
 ④置 gおく hいち
 ⑤速 iじそく jはやさ
 ⑥最 kもつとも lさいこう
- IV a軍 b関係 cでんごん d打つ e写真
 fじつぶつ g写って hおそい iおくれて j差
- V ①(1)1 (2)3 ②1 ③4 ④3

- II ①達する:「ある場所や程度に届く、及ぶ」**㊦**「漢字1字+する」動詞(52 I ②)
- III j 速さ(名):**㊦**速い(形)
 「速」は速度に、「早」は時間の経過に使う。
- IV c 伝言:「言」の基本の音読みは「ゲン」。例:言語
 d 打つ:「心を打つ」は**㊦**「感動させる」という意味。
 h i 遅い・遅れる:遅い(形)、遅れる(動)読み方に注意。
- V ③手伝う:**㊦**(特)
 ④暖まる(自):**㊦**暖める(他)

第23回

- I ①個人的な意見ですが、私はそれに反対です。
 ②日本では、牛や馬は農業でよく使われていた。
- II ①直して(なおして) ②静まった(しずまった)
 ③争って(あらそって) ④熱する(ねっする)
 ⑤比べる(くらべる) ⑥深まった(ふかまった)
- III ①退 aたいいん bいんたい
 ②職 cしょくにん dしょくば
 ③数 eかず fかぞえる
 ④点 gじゃくてん hしゅうてん
 ⑤期 iじぎ jたんきかん
- IV aかのじよ b発音 c得意げ dなげる
 e竹 fのぼりたい g死んで h悲しそう
 iおんだんか jとうしよ
- V ①(1)2 (2)3 (3)2 ②(1)1 (2)3

- II ①直す:「間違いなどを正しくする」**㊦**治す
 ④熱する:「熱が生ずる、熱くする」**㊦**「漢字1字+する」動詞。(52 I ②)
- III d 職場:「シヨク(音)+ば(訓)」の読み方に注意。
- IV a 彼女:「彼」の基本の訓読みは「かれ」。
- V ①(3)飛ばす:「風船を飛ばす」は「風船を空に上げる」という意味。
 ②(2)増える(自):**㊦**増やす(他)、増す(類)

第24回

- I ①夫は気が短いのが欠点で、少しの時間も待つことができない。
 ②初級の文法といっても、完全に使える人は少ない。
- II ①解放(かいほう) ②電池(でんち) ③開放(かいほう)
 ④普通(ふつう) ⑤付近(ふきん) ⑥美人(びじん)
- III ①現 aげんじつ bあらわれて
 ②残 cのこって dざんねん
 ③酒 eにほんしゆ fおさけ
 ④負 gまける hしょうぶ
 ⑤熱 iあつかった jねつ
 ⑥増 kふえて lぞうか
- IV a忘れて b治す cえ d才能 e婦人服
 f地位 g忙しく hおもて iとびでる j平行
- V ①(1)2 (2)1 ②1 ③4 ④3

- I ①気が短い:**㊦**「せっかちである、短気である」という意味。
- II ①解放:「制限がなく自由にすること」
 ③開放:「ドアや窓などを開けたままにしておくこと」「出入りを自由にする」という意味。
- III b 現れる:「今まで見えなかったものが見えるようになる」
 例:雲の間から太陽が現れる
 h 勝負:「負」の基本の音読みは「フ」。例:負担
- IV i 飛び出る:「目の玉が飛び出る」は**㊦**「ひどく驚く」という意味。
- V ①(1)首相:「相」の基本の音読みは「ソウ」。例:相談
 ②直ちに:「すぐに」の改まった言い方。**㊦**直に

第25回

I ①テレビ放送が始まってから、日本人の生活スタイルは大きく変わった。

②ベルが鳴ったのに気付かず、教室に入るのが遅れてしまった。

II ①伝わった(つたわった) ②信じ(しんじ)

③増す(ます) ④表す(あらわす)

⑤望んで(のぞんで) ⑥在る(ある)

III ①第 a しだいに b だいいちい

②面 c しょうめん d じめん

③命 e じんめい f せいめい

④農 g のうそん h のうみん

⑤未 i みかいけつ j みらい

⑥単 k たんい l たんご

IV a 並んで b 寒い c 必要 d しんけいしつな

e しゅやく f つとめる g 毛糸 h のほら

i ねころんで j 雲 k おちてきた

l あたって m 頭

V ①(1)3 (2)4 ②1 ③1 ④3

II ②信じる:「信じる/ずる」あり。

④(5)IVe)

③増す: ④増える

III a 次第に(副):「だんだん」

「次」の基本の音読みは「ジ」。

例: 目次

IV d 神経質な:「細かいことが気

になる性質」「～質」は「～

の性質や傾向を持った」とい

う意味。

f 務める:「任された仕事や役

目を果たす」④勤める、努め

る

V ③夫婦:「夫」の基本の音読み

は「フ」。例: 夫妻

第26回

I ①大学に合格したことを伝えると、両親は心から喜んでくれた。

②次の試合に勝つためには、もっと練習する必要がある。

③先日は無理なことを申しまして、大変失礼しました。

II ①月末(げつまつ) ②予備(よび)

③分類(ぶんるい) ④知能(ちのう)

⑤困難(こんなん) ⑥草原(そうげん)

III ①直 a ちよくご b ちよくつう

②形 c にんぎょう d けいしき

③例 e じつれい f れいがい

④和 g へいわな h わふく

⑤表 i だいひょう j ひょうし

⑥路 k つうろ l ろせん

IV a りゆう b せんめん c すずしい d 減って

e 航空 f 工夫 g かはんすう h えられる

i だいぶ j みのる

V ①2 ②1 ③(1)3 (2)4 (3)3

III c 人形:「形」の基本の音読みは「ケイ」。例: 形式

h 和~:「日本風の」という意味。

l 路線:「鉄道やバス道路、またはその道筋」④線路

IV f 工夫:「よい方法をいろいろ

考えること」。「工」の基本の

音読みは「コウ」。例: 工場

V ③(1)真っ赤: ④(特)

(2)登山:「登」の基本の音読

みは「トウ」。例: 登場

第27回

I ①親切な青年に手を引かれて老人は道を歩いて行った。

②山に降った雨は岩の間を流れて川に流れ出る。

③学校では、目立たないごく普通の子です。

II ①務めた (つとめた) ②放す (はなす)

③連れて (つれて) ④太って (ふとって)

⑤論じて (ろんじて) ⑥洗いなさい (あらいなさい)

III ①配 a はいたつ b くぼる

②速 c はやく d そくたつ

③遊 e ゆうえんち f あそぶ

④落 g らくだい h おちつき

⑤備 i そなえて j せつび

IV a 枚数 b 信用 c 預ける d 機会 e 相談

f 留学 g 続ける h くだもの i すいぶん j 例えば

V ①(1)1 (2)4 ②(1)3 (2)3 ③2

II ⑤論じる:「議論する」という

意味。「論じる/ずる」あり。

図 (5)IV e)

III c 速い (形): 速さ (名)

IV g 続ける:「つづける」振り

仮名に注意。(×つづける)

h 果物: 果 (特)

V ②(2) 問い合わせる:「知りたい

ことを電話や手紙などで聞

く」

第28回

I ①美しい海の底を泳ぐ魚を見てみたいものだ。

②旅行に行くので、飛行機とホテルを予約した。

③小学生の時から、算数は苦手でしたが、歴史は大好きでした。

II ①論争して (ろんそうして)

②注目されて (ちゅうもくされて)

③登場した (とうじょうした)

④合流する (ごうりゅうする)

⑤強調して (きょうちようして)

⑥卒業して (そつぎょうして)

III ①等 a びようどう b とうぶん

②重 c じゅうだいな d じゅうてん

③失 e しつぼう f かしつ

④由 g ふじゅう h りゅう

⑤具 i ぐあい j ぐたいてき

IV a しょうじきな b ふり c よのなか d たしょう

e ぞうげん f だいたい g しゅうにゅう h くすりや

i ずつうやく j 事務

V ①3 ②4 ③2 ④3 ⑤1

III a 平等:「平」の基本の音読み

は「ヘイ」。例: 平和

IV a 正直な:「直」の基本の音読み

みは「チョク」。例: 直前「ジ

キ」はほかに「直に」(副)

i 頭痛薬:「頭」の基本の音読み

みは「トウ」。例: 先頭

V ③収める:「結果を得る」「物を

きちんと入れる」

⑤船便:「ふね+びん」→「ふ

なびん」読み方に注意。「便」

の基本の音読みは「ベン」。

例: 便利

第29回

I ①二人は四年間の交際の末、婚約した。

②彼女は折れそうなくらい細い指をしている。

③言語にはそれぞれ特色があり、難しさを比べることはできない。

II ①打ち合わせた (うちあわせた)

②書き上げた (かきあげた)

③見直しなさい (みなおしなさい)

④引き返した (ひきかえした)

⑤知り合いました (しりあいました)

III ①天然 (てんねん)

②一流 (いちりゅう)

③経由 (けいゆ)

④平日 (へいじつ)

⑤調味料 (ちょうみりょう) ⑥結論 (けつろん)

IV a はんとう

b まっさお

c はたけ

d 解決法

e ありがたく

f 言葉

g しなもの

h さっそく

i かきとめ

j やど

V ①(1)3

(2)2

(3)4

(4)1

②3

II ③～直す:「動詞(ます) + 直す」

で、「もう一度～する」

④引き返す:「元の場所まで戻る」

III ①天然:「然」の基本の音読み

は「ゼン」。例:自然

IV b 真っ青:「特」

e 有り難い:「感謝したい気持ちである」

h 早速:「早」の基本の音読み

は「ソウ」。

V ①(4)プロ級:「プロ」は「プロ

フェッショナル(職業として

それを行う専門家)の略。「～

級」は「～と同じ程度」とい

う意味。例:大臣級

第30回

I ①あの二人は気が合わなくて、まるで水と油のようだ。

②彼は有能な男だったが、家庭ではいい父親ではなかった。

③五年に一回、職業や生活についての調査が行われる。

II ①打ち消した (うちけした)

②引き受けて (ひきうけて)

③差し引かれる (さしひかれる)

④通り過ぎて (とおりすぎて)

⑤組み立てられる (くみたてられる)

⑥飛び出して (とびだして)

III ①温 a きおん b あたたかい

②続 c れんぞく d つづき

③済 e けいざい f しょうずみ

④次 g しいに h ついで

⑤必 i ひつしに j かならず

IV a あいず b すえっこ c できうる d じゅうやく

e 組 f 注文 g 追加

h じつとう/じゅつとう i せんとう j いっちゃん

V ①(1)2 (2)2 ②4 ③1 ④3

III e 経済:「済」の基本の音読みは「サイ」。

IV c 出来る:読み方に注意。「出来る」を強めた固い言い方。「～得る」は古い言い方で「～できる、可能性はある」という意味。

h 十頭:読み方は「じつとう/じゅつとう」どちらもあり。

「～頭」は大きい動物を数える時使う助数詞。

j 一着:「～着」は到着の順を表す助数詞。また、服を数える時にも使う助数詞でもある。

V ①(1)自治:「治」の基本の音読みは「ジ」。例:政治

(2)自由:「由」の基本の音読みは「ユ」。例:経由

②作法:読み方に注意。「作」の基本の音読みは「サク」。

総合問題 1

- I (1) ①説 ②解 ③見 ④実
 a せつめい b かいせつ c けんかい d じっけん
 e はっけん f じつげん
 (2) ①性 ②反 ③心 ④議
 a せいべつ b はんえい c せいのお d いはん
 e しんぱい f かんしん g ねっしん h ぎろん i ふしぎ
- II ①一日 (ついたち) 一日 (いちにち)
 ②月日 (がつび) 月日 (つきひ)
 ③十分 (じつぶん/じゅっぶん) 十分 (じゅうぶん)
 ④今日 (きょう) 今日 (こんにち)
- III ①着 (ちゃくちゃく) ②別 (べつべつに)
 ③続 (ぞくぞく) ④次 (つぎつぎに)
 ⑤広 (ひろびろ) ⑥様 (さまさまな)
 ⑦点 (てんてん)
- IV ① a 道具 b 人類 c 能力 d 入れた e 発明
 f 産業 g 工業 h 現代 i 情報 j 主要
 ② a 訪ねた b 野 c 草 d 種 e 庭
 f 池 g 鳴いて h けはい i めし j くて
 ③ a 発達 b 成長 c 願う d ぎょうじ e ななつ
 f みつつ g 国民 h いつか i 成人 j はたち
 ④ a ともだち b そくたつ c 経営学 d 下宿 e ぶんや
 f いのち g 政府 h 注意 i えがお j ふとい

チャレンジ 接辞①

- I ① 1 ② 3 ③ 1 ④ 3 ⑤ 1
 II ① 食 ② 生 ③ 中 ④ 者
 III ① 有名人 大学生 銀行員 ② 入学金 生活費 電車賃
 ③ 運動場 大使館 案内所 研究室 観光地
 IV ① 無 ② 未 ③ 不 ④ 非

- III 々: 同じ漢字が続く語の時に用いる符号。ほかに「人々」「山々」「国々」や「近々」などがある。
 IV ② g 鳴く: 窓泣く
 h 気配: 「気」の基本の音読みは「キ」。例: 空気
 i 飯 j 食う: 「飯を食う」は「ご飯を食べる」「食事をする」の男性のくだけた言い方。
 ④ a 友達 i 笑顔: 窓 (特)

チャレンジ 読み方と意味

- I ①れんぎゅう ②さいかい ③たよう ④はいち ⑤ぜんれい ⑥かいし
 II ①再会 ②多様 ③開始 ④配置 ⑤前例 ⑥連休
 III ①同 ②どうかん ③予よかん ④反はんかん
 ④未みてい ⑤固こてい ⑥制せいいてい

ステップ 3

第31回

- I ①日本は海に囲まれた島国である。
 ②いい部屋が見付かったので、今度の土曜日に引っ越しをする。
 II ①鋭い (するどい) ②永い (ながい)
 ③汚くて (きたなくて) ④偉い (えらい)
 ⑤易しそう (やさしそう)
 III ①延 a のびた b えんちょう
 ②移 c うつした d いてん
 ③域 e ちいき f くいぎ
 ④液 g けつえき h えきたい
 ⑤貨 i つうか j かもつ
 IV a かわ b するし c いえん d けむり
 e おかし f いしょくじゅう g おさえて h 永遠
 i 愛 j おく
 V ①(1)2 (2)4 ②2 ③1 ④1
- I ①島国: 「しま+くに」→「しまくに」読み方に注意。
 II ②永い: 「いつまでもずっと続く様子」窓長い
 ③汚い (形): 窓汚れる (自)、汚す (他)
 III a 延びる: 「距離や時間が長くなる」例: 会議が延びる、道路が延びる 窓伸びる
 i j: 通貨・貨物: 「貨」には「お金」と「荷物、品物」二つの意味がある。
 IV a 河: 「大きい川」窓川
 c ~炎: 「~に痛み、熱、赤みなどを起こすこと」
 d 煙 (名): 送り仮名はない。
 窓煙い (形)
 V ④運河: 「河」の基本の音読みは「カ」。

第32回

I ①漢字を一日に十五個ずつ覚えることにしている。

②経済の成長と共に、公害が社会問題となった。

II ①隠そう (かくそう) ②異なる (ことなる)

③汚して (よごして) ④換えて (かえて)

III ①慣 a しゅうかん b なれる

②観 c かんきやく d かんこう

③確 e せいかくな f たしかめて

④乾 g かわいて h かんでんち

⑤割 i わりあい j やくわり

IV a かぶ b みなさん c はね d かいせい

e ほした f けつあつ g しょくえん h かわ

i くつ j はいいろ

V ①1 ②1 ③2 ④2 ⑤2

II ④換える:「ほかの物ととりか

える、交換する」替える、
代える

IV b 皆さん:「みんな」は「皆」
のだけた言い方。

c 羽:「鳥や虫に生えている羽」

h 革:「動物の皮を加工した物」

替皮

V ③羽根:「鳥から抜けた羽根」

④仮名: 替 (特)

第33回

I ①休みの日の公園は、子供連れの家族でいっぱいだ。

②技術の進歩があまりにも速いため、追いついていけない人
もいる。

II ①祈った (いのった) ②居た (いた) ③叫んだ (さけんだ)

④吸った (すった) ⑤救って (すくって)

⑥割って (わって)

III ①許 a きよか b ゆるして

②疑 c うたがわれた d ぎもん

③求 e ようきゅう f もとめて

④演 g えんぎ h えんぜつ

⑤給 i きょうきゅう j きゅうりょう

IV a 荷物 b あまそうな c つまって d 基本

e 応用 f ふくんだ g よせられた h きふ

i 金額 j 物価 k 仮定 l かんぎ

m 異常 n きゅうかん o 案内

V ①2 ②4 ③2 ④4 ⑤3

I ①~連れ:「~と一緒に行動し
ている」

II ③叫ぶ:「大きな声を出す」「世
の中に意見を強く主張する」
という意味。例:平和を叫ぶ

V ④丸 (名): 替丸い (形)、円い
(形)

第34回

I ①暑かった夏が終わり、読書の秋、芸術の秋がやってきた。

②会議が進むうちに、会員たちの多くが反対意見に傾き始め
た。

II ①押す (おす) ②驚いた (おどろいた)

③恐れて (おそれて) ④愛して (あいして)

⑤寄って (よって)

III ①敬 a けいご b けいひ

②景 c けいき d けしき

③勤 e つうきん f つとめた

④久 g ひさしぶりに h えいきゅう

⑤義 i いぎ j こうぎ

IV a むれ b あんいな c ぎやく d かんびょう

e きゅうこん f むね g こつきょう h 拡大

i 机 j 覚めた k きょうぎ l ぎよぎょう

m ひかく n ぶんけい o ぐうぜん

V ①3 ②2 ③2 ④3 ⑤1

III d 景色: 替 (特)

f 勤める:「会社などで給料を
もらって仕事をする」替務め
る、努める

IV b 安易な:「易」の基本の音読

みは「エキ」。例:貿易

j 覚める: 替覚える

V ③逆らう:「順当な方向に対し
て逆に進もうとする」「反抗
する」例:「風に逆らう」
「先生に逆らう」替逆さ

第35回

I ①明日、国から友達が来るので、空港へ迎えに行く。

②図書館で借りた本は厚いので、一週間では読めそうにない。

II ①狭い (せまい) ②賢い (かしこい)

③恐ろしい (おそろしい) ④煙く (けむく)

⑤固い (かたい)

III ①検 (けんさ) ②解 (ごかい) ③更 (へんこう)

④協 (きょうりょく) ⑤管 (かんに) ⑥競 (きょうそう)

⑦及 (ふきゅう)

IV a 傾向 b 事故 c ちょうかん d 権利

e かんたんな f かんかく g こ h みずうみ

i じゅうぎよ j ちえ k しき l くんれん

m かた n あいけんか o ひげき

V ①2 ②1 ③1 ④4 ⑤2

II ③恐ろしい:「危険を感じて逃
げ出たくなるような感じ」

⑤固い: 替硬い

IV j 知恵:「恵」の基本の音読み
は「ケイ」。

n 愛犬:「愛~」は「大切に
おもっている、大切にしている」
という意味。例:愛車

V ①幸いな (形): 送り仮名に注
意。 替幸せ (名)

②機嫌: ここでは「表情や態度
に表れる快・不快などの感
情」という意味。

第36回

I ①野菜や果物を食べないとビタミンが不足する。

②世界中で気候の温暖化が進んでいる。

II ①嫌って(きらって) ②枯れて(かれて)

③込んで(こんで) ④荒れて(あれて)

⑤雇われる(やとわれる)

III ①庫 a きんこ b しゃこ

②香 c かおり d こうすい

③呼 e こきゅう f よぶ

④固 g かたまつて h こだい

⑤互 i おたがい j そうご

IV a かた b まかなければ c きっさてん

d きんえん e あつかましい f ほのお

g しお h あまやかされて i おそれ

j こうちゃ k かいがん l すな

m ほつきよく n とった o かまわないで

V ①3 ②3 ③4 ④4 ⑤1

II ③込む:「人や物が動けなく
raitakusanjumatataijouhou

III c 香り(名):「におい」の中で
「いいにおい」の時に使う。

i お互い:送り仮名に注意。

IV a 型:「同じ物を作る時のもと
になる物」図形

c 喫茶:「茶」の基本の音読み
は「チャ」。例:茶色

e 厚かましい:「ずうずうしい、
えんりよ遠慮がない」

n 採る:ここでは「人を雇う」
という意味。図取る、とる

o 構う:「気を遣う」

V ①誤り(名):「間違い」という
意味。誤る(動)

②越える:「ある場所・地点を
と通り過ぎてむこうへ行く」図
こ越える

第37回

I ①この辞書は、例がたくさんあって使いやすい。

②彼は、大学の文学部に入ることを希望している。

II ①殺して(ころして)

②咲いて(さいて) 散って(ちって)

③似て(にて) ④辞めた(やめた) ⑤嫌がる(いやがる)

III ①材 a もくざい b ざいりょう

②察 c かんさつ d けいさつ

③支 e しきゅう f してん

④混 g こんごう h こんごつ

⑤散 i さんぼ j かいさん

IV a いんさつじよ b すりあがった c めいし

d かいさつぐち e ひとごみ f じさつ

g 原因 h と i くん j きみ k まつって

l おまいり m いくじ n 参考 o ぎむ

V ①(1)1 ②3 ③1 ④2

II ④辞める:「勤めや地位から身
を引く」

IV a 印刷所:「所」の基本の音読み
みは「ショ」。例:事務所

b 刷り上がる:「～上がる」は、
ここでは「完成する」

d 改札口:「かいさつ+くち」
→「かいさつぐち」読み方に
注意。

i ~君:仲間や目下を使う、軽
い敬意を示す言葉。

V ①(2)歯車:「は+くるま」→「は
ぐるま」読み方に注意。

②漁師:「漁」の基本の音読み
は「ギョ」。例:漁業

第38回

I ①日本の夏は、湿度が高くて過ごしにくい。

②日本文化に関する知識を深くするために、寺や神社を訪ね
て回った。

II ①甘えて(あまえて)

②捨てて(すてて) 拾って(ひろって) ③述べた(のべた)

④支えて(ささえて) ⑤就きたい(つきたい)

III ①準 a すいじゆん b じゆんび

②順 c じゆんちよう d じゆんぼん

③幸 e こううんな f しあわせな

④守 g るす h まもって

⑤招 i まねく j しょうたい

IV a やわらかい b にあう c さいてん d ししゃごにゆう

e 平均 f とこや g 消防署 h どうし

i じゆつご j しゆうしよく k いわって

l いっしょに m じょうしぎ n しゆう o しょこく

V ①1 ②4 ③3 ④4 ⑤1

III f 幸せな:読み方に注意。

g 留守:「守」の基本の音
読みは「シュ」。「留」の基本の音
読みは「リュウ」。例:留学

IV a 柔らかい:図軟らかい

V ③支度:「度」の基本の音読み
は「ド」。例:温度

④競馬:「競」の基本の音読み
は「キョウ」。例:競争

第39回

I ①将来、この近くに地下鉄の駅ができる。

②わずかながら株の価格が上がった。

II ①六軒 (ろっけん)

②八冊 (はっさつ) 四畳半 (よじょうはん)

③一羽 (いちわ) ④二割 (にわり)

⑤十歳 (じっさい/じゅっさい)

III ①植 a しょくぶつ b うえて

②賞 c しょうきん d しょうひん

③状 e じょうきょう f しょうじょう

④囲 g しゅうい h かこまれて

⑤蒸 i むしあつい j じょうはつ

IV a まるい b お皿 c てって d 証明

e だいじん f のぼった g いわい h しゆくじつ

i さいじつ j 文章 k くちべに l きゅうじょ

m はり n さして o からい

V ①1 ②2 ③(1)3 (2)2 ④4

II ①~⑤助数詞

IV e 大臣:「臣」の基本の音読み

は「シン」。

f 昇る:「勢いよく高い所に行

く」例:エレベーターで一気

に昇る 参「登る」「上る」

V ①姓:「名字」

②承る:「引き受ける」「聞く」

の謙譲語。

③(1)吹雪:参(特)

第40回

I ①面接は第一印象が大切である。

②この委員会は、住民の代表と専門家で構成されている。

II ①積んだら (つんだら) ②伸びた (のびた)

③吹かれ (ふかれ) ④焼いて (やいて)

⑤触って (さわって)

III ①接 (せつきん) ②介 (しょうかい) ③書 (せいしょ)

④処 (しより) ⑤承 (しょうち) ⑥支 (しはい)

IV a はんせい b さがした c はいざら d まど

e はいた f そうじき g かんごし h せいしん

i たいしょう j せいひん k 成績 l しょうじょう

m おんせん n しめる o 面積

V ①2 ②1 ③4 ④3 ⑤3

II ②伸びる:物の長さ、身長、成

績などに使う。参延びる

⑤触る:参触れる

IV b 探す:「見えなくなったもの

を見付けようとする」参探す

c 灰皿:参「はい+さら」→

「はいざら」読み方に注意。

f 掃除機:「除」の基本の音読

みは「ジョ」。

i 対照:参対象

n 占める:ここでは「全体の中

である割合を持つ」という意

味。例:賛成が過半数を占め

る

V ②占う:「将来の運勢を予測す

る」

③大勢:「勢」の基本の音読み

は「セイ」。

④万歳:読み方に注意。「万」

の基本の音読みは「マン」、

「歳」の基本の音読みは「サ

イ」。例:1万円、3歳

第41回

- I ①その機械の構造は、意外にも簡単だった。
②約束を守らなければ信用を失うだろう。
- II ①お礼状 (おれいじょう) ②血液型 (けつえきがた)
③ドイツ製 (ドイツせい) ④死亡率 (しぼうりつ)
⑤定期券 (ていきけん) ⑥発言権 (はつげんけん)
- III ①測 aそくてい bはかった
②尊 cそんちょう dそんけい
③存 eそんざい fせいぞん
④則 gほうそく hきそく
⑤骨 iほね jこっせつ
- IV aむすこ bいき cせいり dこうそう
eかんそうき fせいさく gほうしん hおくりもの
iはなたば jこうか kおさつ lいきおい
mむかしばなし nまご oしそん
- V ①1 ②2 ③1 ④4 ⑤2

チャレンジ 接辞②

- I ①3 ②1 ③4 ④2 ⑤4
II ①用 ②再 ③外 ④愛 ⑤観
III ①新聞 ②禁煙 ③消防 ④水道 ⑤文化

第42回

- I ①団体旅行は安全だが、自由が制限される。
②東京は土地の値段も物価も高く住みにくい。
- II ①荒く (あらく) ②清く (きよく) ③浅い (あさい)
④憎くて (にくくて) ⑤硬い (かたい)
- III ①官 aかんちょう bけいかん
②超 cこえる dちょうか
③装 eふくそう fそうち
④率 gそつちよくに hかくりつ
⑤接 iちよくせつ jかんせつ
- IV aりょうがえ b駐車 cしゅだん dはずかしくて
eつま fふさい gなかま hちょうじょう
iけんちくぶつ jそうりだいじん kきんぞく
lせきたん m宇宙 nりょうがわ oでんちゅう
- V ①3 ②2 ③2 ④4 ⑤1

第43回




- I ①信号が赤から青になるのを待って、横断歩道を渡った。
②特急はすべて座席指定となっております。
- II ①怒らせて (おこらせて) ②贈った (おくれた)
③造られた (つくられた) ④凍った (こおった)
⑤逃げて (にげて)
- III ①適 aてきどな bかいてきな
②態 cたいど dじょうたい
③震 eじしん fふるえて
④想 gくうそう hはっそう
⑤象 iぞう jたいしょう
- IV a発展 bせいとう cとうゆ d貯金
eごうとう fぬすまれ gしんぞう hごぞんじ
iちょしゃ jにくんで kすいてき lいずみ
mたおれた nこうたい oめんどう
- V ①1 ②3 ③1 ④4 ⑤1

- I ②土地：「土」の基本の音読みは「ド」。例：土曜
- II ⑤硬い：「石や金属が外力に強い」 ㊦固い
- III c 超える：「基準や限界から出る」例：半数を超える ㊦越える
- V ③畳む (動)：㊦畳 (名)

- II ②贈る：「人に感謝や愛情、祝福の気持ちを表すために位や物をあげる」 ㊦送る
- ③造る：抽象的なものには使わない。㊦作る
- ④凍る：㊦凍える
- III i j 象・対象：「象」の基本の音読みは「ショウ」。「ゾウ」は「動物の象」
- IV e 強盗：「強」の基本の音読みは「キョウ」。例：「勉強」
- o 面倒：「倒」の基本の音読みは「トウ」。


第44回

- I ①スピーチ大会に出場するので、発音の指導を受けた。
 ②家へ帰る途中で、図書館に寄って本を返した。
- II ①届いて(とどいて) ②認められ(みとめられ)
 ③悩んで(なやんで) ④省いた(はぶいた)
 ⑤探した(さがした)
- III ①独 aどくりつ bどくしん
 ②突 cとつぜん dつっこんで
 ③破 eはさん fやぶれて
 ④背 gせおった hせびる
 ⑤任 iせきにん jまかせる
- IV aでんば bのう cにぶく dくもり
 eこうよう fかいぞう gこい hぬる
 i健康 jきゅうそく kじゅんじょう lじどう
 mせいと nきよだいな oはしら
- V ①2 ②4 ③2 ④(1)1 (2)3

- II ⑤探す:「欲しいもの、必要なものを求める」 捜す
- III g背負う:「背中に乗せる」
 h背広:「男性用のスーツ」
- IV e紅葉(名):「秋になって色を変えた葉」 紅葉
- V ③探る:「目に見えないものをさがす」例:「秘密を探る」
 探す



第45回

- I ①本の出版を記念して、講演会が開かれた。
 ②大教室では前に座らないと黒板の字が見にくい。
- II ①一兆(いっちょう) ②一匹(いっぴき) 二匹(にひき)
 ③三杯(さんばい) ④五泊六日(ごはくむいか)
 ⑤六十巻(ろくじっかん/ろくじゅっかん)
- III ①断(はんだん) ②認(しょうにん) ③担(たんとう)
 ④像(そうぞう) ⑤賛(さんせい) ⑥参(じさん)
- IV aつとめて bどりよく cなみ dかんたい
 eそんがい fせめられた gていりゅうじょ hはんばい
 iはんざい jひがい kかみ lしょうどくやく
 mうすめて nさか oいた
- V ①3 ②1 ③2 ④1 ⑤3

- I ②黒板:「板」の基本の音読みは「ハン」。
- II ②〜匹 ③〜杯:助数詞 読み方、音変化に注意。
 ⑤〜巻:シリーズの本の数え方。
- IV a努める:「一生懸命力をつくす」 務める、勤める
- V ④背:意味が「身長」の時には「せい」とも「せ」とも読む。
 ⑤灯:「明かり」

第46回

- I ①会社の方針が能率第一に変わってから、働きづらくなった。
 ②君の言っていることは、一般論にすぎず具体性がない。
- II ①副社長(ふくしゃちょう)
 ②諸問題(しょもんだい)
 ③再発行して(さいはっこうして)
 ④総人口(そうじんこう)
 ⑤省エネルギー(しょうエネルギー)
 ⑥翌年(よくねん/よくとし)
- III ①定 aこうてい bひてい
 ②復 cふくしゅう dかいふく
 ③提 eていしゅつ fていあん
 ④複 gふくぎつ hふくすう
 ⑤財 iざいさん jさいふ
- IV aしろ bまわり cふね d浮かべて
 eおゆ fわかして gねこ hそば
 iのうど jおみまい kせんたくもの lふうとう
 mはな nぎつぷ oはくし
- V ①4 ②2 ③4 ④4 ⑤1

- II ①〜⑥接辞「副〜」「諸〜」「再〜」「総〜」「省〜」「翌〜」
 「広がる広げる漢字の言葉接辞」
- ⑤省〜:「必要のない、〜を使わない」という意味。「省エネルギー」を省略して「省エネ」とも言う。
- III i財産 j財布:「財」の基本の音読みは「ザイ」。
- IV k「洗濯物」:「センタク(音)+もの(訓)読み方に注意。
 o博士:「大学院の後期課程」の時は「ハクシ」と読む。 博士
- V ②再来週:「再」の基本の音読みは「サイ」。「再来〜」は「次の次の〜」という意味。例:
 再来月

第47回

I ①この雑誌の記事は、確かな情報を基に書かれている。

②税金の支払いは期限までに必ず済ませること。

II ①眠れなかった (ねむれなかった) ②満ちた (みちた)

③暮らしたい (くらしたい) ④抱いた (だいた)

⑤包んで (つつんで)

III ①辺 aあたり bしゅうへん

②豊 cゆたかな dほうふな

③亡 eしぼう fなくなる

④満 gまんいん hふまん

⑤遅 iおそかった jちこく

IV aけがわ bぼうし cむすめ dあみもの

eてぶくろ fあんで gむしば hみがく

iとったり jたから kうめたり lぎゅうにゅう

mおぎなう nいねむり oきょうふ

V ①3 ②4 ③3 ④1 ⑤4

I ②済ませる:「仕事などを終わらせる」

II ④抱く:「しっかりと両手で胸に持つ」
抱える、抱く

III a 辺り: 送り仮名に注意。

IV i 捕る:「逃げる相手を押さえ、動かさないようにする」
捕まえる、捕らえる

n 居眠り:「座ったり、腰掛けたりしたまま眠ること」

V ③坊ちゃん:「坊」の基本の音読みは「ボウ」。例:寝坊

⑤博士:「(特)意味は「その道に通じた人」
博士

第48回

I ①大雪のため、飛行機の到着時刻が変更になりました。

②欠席する場合は必ず連絡してください。

II ①薄い (うすい) ②軟らかく (やわらかく)

③怖い (こわい) ④幼い (おさない)

⑤優しい (やさしい)

III ①容 aようぎ bようい

②欲 cしょくよく dほしがら

③浴 eかいすいよく fあびた

④包 gこづつみ hほうそう

⑤訓 iくんれん jくんよみ

IV aはこ bうら cぼくはつ d太陽 eぶたい

fおどれる gふごう hめいしん iぶぎ jぼうえき

kちんたい lひつじ mつかまえた nめん oこし

V ①2 ②1 ③3 ④(1)2 (2)1

II ②軟らかい:「力を加えると変形しやすい」
柔らかい

III b 容易・IV j 貿易:「エキ」と読む時は「取り替える」という意味。「イ」と読む時は「易しい」という意味。

IV m 捕まえる:「しっかりと手につかむ」
捕る、捕らえる

n 綿:「メン」は布の種類を表す時に使う。
綿

V ③抱える:読み方に注意。「胸の前、またはわきに両手で支える」
抱く、抱く

④(1)仏の顔も三度:ことわざ「どんなに温和な人も何度もひどいことをされれば、最後には怒り出す」

(2)犬も歩けば棒に当たる:ことわざ「時には災難にあうこともある」「何かやっていたら意外な幸運に出会うことがある。(現在はこちらの意味で使われることが多い。)」

第49回

I ①地球の緑を失わないように守り育てるのが私たちの仕事だ。
 ②スポーツの世界では、毎年新しい記録が生まれている。

II ①混ぜる(まぜる) ②整ったら(ととのつたら)
 ③張られて(はられて) ④犯した(おかした)
 ⑤込めて(こめて)

III ①労 aろうどう bくろう
 ②量 cぶんりょう dはかる
 ③冷 eれいせい fつめたくて
 ④恋 gしつれん hこいびと
 ⑤輸 iゆにゆう jゆしゆつ

IV aたまご bこむぎこ cとき dこな
 eどろぼう f宝石 g指輪 hもどつて
 iつうやく jたよる kよけい lねんれい
 mいりょう nゆめ oいだいて

V ①(1)2 (2)3 ②(1)3 (2)1 ③2

II ①混ぜる:「2種類以上の物を一緒にして溶け合わず」交ぜる
 III ②d量る:重さ・量を調べる時に使う。計る、測る
 IV b~粉:「~を細かくして粉にしたもの」
 o抱く:「心の中に持つ」抱く、抱える
 V ②(2)布団:「団」の基本の音読みは「ダン」。例:集団
 ③綿:「綿のような~」は比喩。「柔らかくてふわふわしているところが、綿に似ている~」という意味。綿

第50回

I ①眠い時は、軽く体操をして目を覚ますようにしている。
 ②労働条件を改善するための話し合いが行われた。

II ①余って(あまって) ②浮かべて(うかべて)
 ③冷えた(ひえた) ④与えないで(あたえないで)
 ⑤沈み(しずみ)

III ①略(しょうりやく) ②了(かんりょう)
 ③凍(れいとう) ④乱(こんらん) ⑤募(ぼしゅう)
 ⑥令(めいれい) ⑦緑(りよっか)

IV aたたみ bこいしく cゆうしょう dこうほ
 eぎゅうよ fなみだ gまずしかった h幸福な
 i栄養 jふで kちらかって lかたづけて
 mもえる nしゃりん oうらぎらない

V ①2 ②1 ③4 ④4 ⑤1

I ①覚ます: 覚める
 II ③冷える(動): 冷める(動)、冷たい(形)
 III ①省略:「省」の基本の音読みは「セイ」。例:反省
 ⑦緑化:「植物を植えて緑を多くすること」読み方に注意。
 IV k散らかる:「物が片付かないであちこちにある様子」
 V ①紅葉:「もみじ」という木の名前。特 紅葉

第51回

I ①社長は、自分の判断ミスを絶対認めようとしなかった。
 ②はつきり断ったのに、その男は借金を頼みに再び現れた。

II ①呼び出して(よびだして)
 ②払い戻して(はらいもどして)
 ③乗り換えて(のりかえて)
 ④見慣れない(みなれない)

III ①極 aせつきよくてき bしょうきよくてき
 ②列 cれつとう dぎょうれつ
 ③冷 eさまして fれいぞうこ
 ④頼 gいらい hたのもしい
 ⑤律 iほうりつ jきりつ

IV aはいけん b環境 c基準 dひはん eおうじて
 fあん g主張 h司会 iはんして jやちん
 k季節 lほぞん mよくばりな n目標 oいし

V ①2 ②4 ③3 ④(1)3 (2)1

I ②断る:「相手の頼みを受け入れられない」
 III h頼もしい:「頼りになりそうな感じがする」頼る、頼む
 IV e応じる:「応じる/ずる」あり。「漢字1字+じる/ずる」で動詞になる漢字には「生じる、通じる、信じる、論じる、感じる、命じる、存じる」などがある。
 i反する: 反「漢字1字+する」動詞 (52 I ②)
 V ①捕らえる:「相手の動きに応じてつかまえる」「しっかりとつかむ」捕る、捕まえる
 ④(2)雨戸:「あめと」→「あまど」読み方に注意。

第52回

- I ①失敗を恐れず、理想に向かって進め。
 ②このレポートは、戦争で心と体に深刻なダメージを受けた子供たちに接した医師が書いたものだ。
- II ①思い込んで (おもいこんで) ②飛び込んだ (とびこんだ)
 ③引っ込んだ (ひっこんだ) ④溶け込み (とけこみ)
 ⑤申し込む (もうしこむ)
- III ①価 aひょうか bかち
 ②修 cけんしゅう dしゅうり
 ③授 eきょうじゅ fじゅぎょう
 ④節 gせつやく hちょうせつ
 ⑤張 iかくちょう jしゅつちょう
- IV a暮れる bむちゅう cようじ dねぼう
 eはら fへんしゅう gりょうしゅう hひつき
 iりやくした jらんぼうな k勇氣 lぬいた
 mうで n氷 oひふか
- V ①1 ②2 ③4 ④3 ⑤4

- I ②接する:「漢字1字+する」
 で動詞になる漢字には「達する、熱する、愛する、関する、反する、略する」などがある。
- II 複合動詞「～込む」②③⑤
 「何かがある中に入ること。またそうした状態にすること」という意味。①④「すっかりその状態になってしまひ、元の状態に戻れない」という意味。
- IV a暮れる:「日が沈んで暗くなる」
 暮らす
 c 幼児:「小学校に入る前ぐらいままでの子供」
- V 二十歳、迷子、白髪、木綿、浴衣: 浴 (特)

第53回

- I ①当時の政府は、農家から米を高く買い、消費者には安く売っていた。
 ②満足できる結果が得られて、今までの苦勞も忘れてしまった。
- II ①果たした (はたした) ②迷って (まよって)
 ③払う (はらう) ④離れる (はなれる)
 ⑤含めた (ふくめた)
- III ①片 aはへん bかたみち
 ②程 cかてい dていど
 ③統 eけいとう fでんとう
 ④評 gひょうばん hひょうろん
 ⑤婚 iけっこん jりこん
- IV a労働 b守る cほう dそん
 eぶし fほど gすいとう hたくはいびん
 iわかわかしく jようもう k秒 lていでん
 mふぞく nごりょうしん oてちょう
- V ①4 ②1 ③1 ④1 ⑤2

- III g 評判:「判」の基本の音読みは「ハン」。例:判断
- IV f 程:「身の程」で「身分」「能力の程度」という意味。
 h 宅配便:「宅配」は「自宅まで配達すること」という意味。
 n 御~: 例:御連絡、御意見など。「御」の基本の音読みは「ギョ」。

総合問題2

- I ①日本は四つの島から成っています。どこの国にも、国がどうやって生まれたかという神話がありますが、日本の場合は、男と女の神様が結婚して、これらの島を作ったということになっています。
 ②大人は、幼い子供は悩んだり苦しんだりすることはないと思いがちだ。しかし、子供はそんなに単純ではない。ある児童文学者は、「子供に甘いお菓子のような話ばかり与えるのは間違いだ。彼らは大人以上に死の恐怖を感じ、人生の意味を考えている。」と語っている。
- II ①下降 (かこう) ②困難な (こんなんな) ③団体 (だんたい)
 ④到着 (とうちゃく) ⑤単純な (たんじゆんな) ⑥収入 (しゅうにゅう)
- III ①体重 (たいじゅう) 重体 (じゅうたい) ②階段 (かいだん) 段階 (だんかいはい)
 ③実現 (じつげん) 現実 (げんじつ) ④先祖 (せんぞ) 祖先 (そせん)
- IV ① aせいしん b原因 cしんたい dしんこく eいし
 fせつした gいんしょう h周囲 iきたいどおり jやさしい
 ② a設計 bきゅう cつねに dしょくば e追われる
 fひつしに gのう hしょうじて i感覚 j含めて
 k冷静 l観察 mどりよく nみのらない oゆうぎ

チャレンジ 接辞③

I ①3 ②3 ③4 ④4 ⑤1 ⑥4

II ①1. 系^{けい} 2. 化^か 3. 性^{せい} 4. 派^{はい} 5. 超^{ちゆう}

チャレンジ 音の変化

I ①1. B こくりつ 2. B こくさん 3. A こつきょう 4. B こくれん

②1. A しゅつきん 2. B しゅつげん 3. A しゅつさん 4. B しゅつだい

③1. B しはつ 2. B かいはつ 3. A はんぱつ 4. A せんぱつ

④1. A いっぼう 2. A えんぼう 3. B たほう 4. A りっぼう

II a さいはつ b かつぱつ c けいひ d じっぴ e けつひ

f けっしょう g ぶんぱい h はいぶん i かんきやく j きゃつかん

III ①有しゆうち ②用しようきんし ③建さいけん ④健けんざい

⑤居どうきよ ⑥連れんきゆう ⑦品しゅつぴん ⑧京ききょう

チャレンジ 読解

I ①a ロボット b 効果 c 介護 d 負担

②省略

③1. × 2. × 3. ○ 4. ○ 5. ○ 6. ×

④^{きもち}気持ちを^{げんき}元気で^{あか}明るくする(など)

⑤1. こうれいしゃ 2. じょうじょう 3. ゆうこうせい 4. じっしょう 5. かいご

6. ふたん

II ①a ヒゲ b 伸ばす^の c 市民^{しみん} d 不快^{ふかい} e おかしい

②省略

③1. × 2. ○ 3. ○ 4. × 5. ○

④きれいに^{ととの}整えられていないヒゲ

⑤1. ちょうないぶんしょ 2. ふかい 3. めいぶんか

4. たいしょする 5. ようにんする 6. ぜんめんきんし